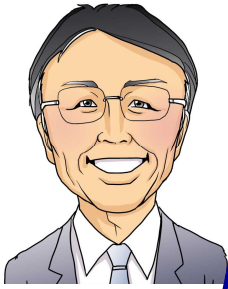


特別支援教育だより(No.3)

令和 3年 7月 8日 (木)
霧島市立国分南小学校
特別支援教育コーディネーター 大江 浩光 作成



【大江 浩光】(特別支援教育コーディネーター)

「特別支援教育に関する相談について」

本校では、特別支援学級への就学、学習や生活に関して、相談されたい方は、担任または、特別支援教育コーディネーター、管理職にご相談ください。

夏休み期間中、個別面談をすることも可能です。

お気軽にご相談ください。

【療育について】

療育は、心理士（臨床心理士）、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士です。

心理士（臨床心理士）さんは、相談依頼者が抱える様々な精神疾患や心身症、精神心理問題、不適応行動などの援助・改善・予防・研究、あるいは人々の精神的健康の回復・保持・増進・教育へ寄与します。また、心理検査なども行います。検査の一つとして、WISC-IIIがあります。この検査は、学校現場でもよく使われています。

WISC-IIIでは、言語性検査（知識、類似、算数、単語、理解、数唱）と動作性検査（絵画完成、符号、絵画配列、積み木模様、組合せ、記号探し、迷路）を行います。そして全検査の数値を出します。この検査を通して、お子さんのどの領域が苦手意識があるかを把握し、その部分を多様な指導法を用い、向上を図ります。

理学療法士さんは、呼吸など生命の維持する機能の改善や維持、座る・立つなどの基本的な運動機能の取得と日常生活での運動機能の発揮及び維持、変形・痛みなどの二次的な障害の予防と改善を目的として、潜在的な基本的運動能力を促進させます。さらに機能の獲得・改善・維持に結びつける運動療法と生活上の提案をします。

作業療法士さんは、遊び、身辺動作、学習、仕事、休息といった日常の作業活動をうまく行えることを目的に、具体的な支援（コミュニケーションと身辺動作など）をしたり、提案をしたりします。

言語聴覚士さんは、主に「言葉・コミュニケーション・食事」に困りが生じているお子さんへの専門の言葉や使ったり、指導したりすることにより、楽しくコミュニケーションがとれるようにします。

歯科衛生士さんは、歯の状況を判断します。

【支援により、伸びる可能性は高まります】

視力が弱い人は、眼鏡をかけることにより、よく見えるようになります。「支援」も同じです。特定の困り感をもった子どもに対して、担任や保護者、専門機関等とも連携し合い、よりよい支援の仕方を考え、支援を行っていくことでうまくいく可能性が高まります。まずは、「支援」を体験されてみてはいかがでしょうか。